

## Press Release

2021年6月24日  
株式会社バイオコクーン研究所

宮城県仙台市の住民、薬局、医院の参加による  
認知機能低下者に対する「カイコ冬虫夏草」のパイロット試験の結果が  
発表されました。

本研究は、当社の「カイコ冬虫夏草」の基礎研究をベースに行われたもので、静岡県立大学 薬学部 医薬品情報解析分野の古島大資講師と山田浩教授が実施しとりまとめ、この度、その結果が米国「Current Topics in Nutraceutical Research」に掲載されました。

[NCHP \(nchpjournals.com\)](http://NCHP (nchpjournals.com))

### 発表内容 <概要>

本研究は、仙台市内にある地域の「宮川薬局」と「桜ヶ丘あおぞら内科」を中心とした地域住民参加型の認知機能低下者（軽度認知障害）パイロット試験です。

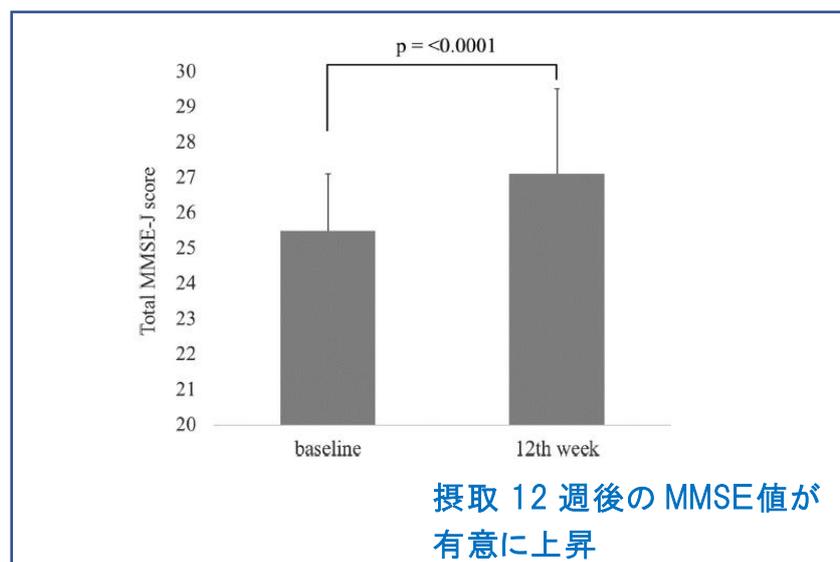
冬虫夏草として数ある研究発表の中でも、「認知機能に関する地域住民参加型」の研究は例がありません。

### <結果>

軽度の認知機能低下を伴う64歳から94歳の研究参加者（25名）を対象に、「カイコ冬虫夏草」12週間摂取によるミニメンタルステート検査（MMSE）スコアの変化を確認しました。

その結果、摂取前後で統計学的に有意なスコアの改善が見られました。

また同時に実施した血液検査では、重篤な有害事象は見られませんでした。



これらの結果は、「カイコ冬虫夏草」が認知機能改善に有用である可能性を示唆しており、また食品として継続摂取することが安全であることを示しています。

本研究は非盲検化で単群試験であり、今後更なる研究を継続する予定です。



本研究に使用した「カイコ冬虫夏草」

本研究に関するお問い合わせは、

静岡県立大学 薬学部 医薬品情報解析分野 講師 古島大資 [dfuru@u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:dfuru@u-shizuoka-ken.ac.jp) まで  
お願いします。

以上